

2014年9月14日

ブライアン・ブルエット牧師

ピリピ人への手紙：喜びの青写真 #12

OICへようこそ。お越しいただきありがとうございます。私たちは今、パウロがピリピの教会の信徒たちに宛てて書いた手紙を学んでいます。パウロが心をこめて書いたこの手紙には、ピリピの使徒たちに対する愛と気遣いが現れています。クリスチャン生活についての教えを信徒たちに伝える姿には、群れを思いやる牧会者の心境が見られます。これまでパウロが語った内容を振り返ってみましょう。イエスとのつながりが真の喜びをもたらすこと。そうして初めて、どんな状況でも見据えるべき目標を見失わずに生きることができること。その目標とは、神が私たちが暗闇から光へと導き出してくださり、私たちは天で永遠を過ごすこと。この事実が私たちに絶えず喜びを与えてくれること。などでした。この世で生きる人生はほんのわずかな時間です（ヤコブ 4:14）。今週は、地上における指導者たちに倣うことについて学びます。私たちの周囲には、素晴らしいクリスチャンが与えられています。一方、残念ながらサタンに支配された人たちもいます。キリストに似た者とされるという賞を追い求めるなら、このような人たちとは関わってられません。今日の聖書箇所は、ピリピ 3:17-21 です。

ピリピ 3:17-21

3:17 兄弟たち。私を見ならう者になってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。**3:18** というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。**3:19** 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。**3:20** けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。**3:21** キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

クリスチャンの人生とは、キリストに似た者になることの追求です。その中で、私たちは神の喜ばれることは何かを学び、それを実行します。霊の賜物を用いる、聖霊の促しを受け入れる、神から私たちが遠のけるものに近づかない、互いを愛することを学び、一致をもつとともに仕える、などです。イエスは弟子たちに「わたしについてきなさい」とおっしゃいました。この個所でパウロは、「イエスについていっている私についてきてください」と言っているわけです。キリストに似た者とされるために、神は私たちが暗闇から光へと導き出してくださったのです。

ローマ 8:29 なぜなら、神は、あらかじめ知っておられる人々を、御子のかたちと同じ姿にあらかじめ定められたからです。それは、御子が多くの兄弟たちの中で長子となられるためです。

では、なぜパウロはピリピの信徒たちに自分を見習うようにと言ったのでしょうか。ここで3つの理由を紹介しましょう。

理由 #1 キリストに目を向けさせてくれるから

ピリピ 3:17 兄弟たち。私を見ならう者になってください。また、あなたがたと同じように私たちを手本として歩んでいる人たちに、目を留めてください。

ピリピの信徒たちに向かって、私を見習いなさいとパウロは言います。これについて、パウロがイエスに従っていることを覚えていなければなりません。私たちもまた同じです。キリストに似た者になりたいなら、イエスがどのようなお方かを知る必要があります。私たちの神は分析をするお方ではありません。私たちの生活を分析しようとされません。医師は患者に対してその症状を分析しますが、神がそのようなお方でないことに感謝します。イエスがどのようなお方かを理解するには、聖書を知る必要があります。聖書が主の愛やあわれみについてなんと語っているかを知らなければなりません。パウロは、「目標を目指して一心に走っている」と語りました。パウロは、苦しみを耐え忍んで忍耐するという模範を示してくれた素晴らしいお手本です。テモテやバルナバとの対人関係でも素晴らしいお手本を見せてくれました。また、肉との葛藤があることを、包み隠さずに認めました。もちろんイエスが私たちの完全な模範ですが、私たちには生身の人間のお手本が必要です。世界中の教会で、指導者について聖書が示す基準よりも低い基準で妥協する傾向がしばしば見受けられます。皆さんには、イエスにしっかり従うクリスチャンとしてのお手本のような存在の人がいますか。その人たちもパウロと同じようにまだ完全ではありません。ピリピ 3:12 で学んだとおりです。誰にも過ちや失敗はありますが、敬虔な神に従う人は見習う価値があります。パウロにとって、キリストはすべてでした。食事や睡眠、呼吸もすべてイエスのためと言っても過言ではありません。イエスを模範として生きるクリスチャンの生き方を見て、多くの人がイエスの救いに導かれました。私たちは、ノンクリスチャンの人たちが目にする唯一の聖書かもしれないとよく言われますが、そのとおりです。ですから、神に従う指導者を見習うひとつめの理由は、「キリストに目を向けさせてくれるから」です。

パウロがピリピの信徒たちに自分を見習うようにと言ったふたつめの理由は、

#2 神に背く敵を示してくれるから。

ピリピ 3:18,19

3:18 というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。3:19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。

パウロは、ピリピの教会を導くにあたって、引き続き現実的なアプローチをします。パウロは、一部の人々を指して「キリストの十字架の敵」と呼びます。イエスは、麦と毒麦のたとえ話から、敵を見分けるのはそれほど簡単ではないことを教えてくださいました。

マタイ 13:24b, 25

「天の御国は、こういう人にたとえることができます。ある人が自分の畑に良い種を蒔いた。13:25 ところが、人々の眠っている間に、彼の敵が来て麦の中に毒麦を蒔いて行った。

福音に他のものを追加しようとしたユダヤ化主義者という人々もそうです。パウロは、意見の違う人を指しているではありません。私たちには皆それぞれ違った意見があります。ここ OIC にも、あらゆる教派や教団の出身の方々がおられます。それはなぜでしょう。私たちは皆クリスチャンであっても、同じように聖書の解釈をするとは限らないからです。神に通じる道はただひとつで、それはキリストをとおしてであることが共通の理解である限りは大丈夫です。パウロがここで言っているのは、救いの方法を違ったものにしようとする人、イエスが十字架上でなされた御業の価値を下げようとする人のことです。パウロは、18-19 節でこの点を繰り返します。

ピリピ 3:18, 19

3:18 というのは、私はしばしばあなたがたに言って来たし、今も涙をもって言うのですが、多くの人々がキリストの十字架の敵として歩んでいるからです。3:19 彼らの最後は滅びです。彼らの神は彼らの欲望であり、彼らの栄光は彼ら自身の恥なのです。彼らの思いは地上のことだけです。

この人たちは、神の喜ばれないものを好みます。つまり、神の味方ではありません。神の味方でないなら、そのような人には私たちも断固対抗する必要があります。だからといって、その人たちを愛さないということではありません。愛をもって接し、その人たちが神との正しい関係に導かれるようにするのは、ここまです。人間の指導者を見習う理由のひとつめは、キリストに目を向けさせてくれるから、そしてふたつめは、十字架の敵を示してくれるから、です。

最後に3つめの理由です。パウロがピリピの信徒たちに自分を見習うようにと言った3つめの理由は、

#3 祝福された望みに目を向けさせてくれるから。

ピリピ 3:20,21

3:20 けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。3:21 キリストは、万物をご自身に従わせることのできる御力によって、私たちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じ姿に変えてくださるのです。

パウロは確信に満ちて「私たちの国籍は天にある」と語ります。パウロが自分を見習うようにと信徒に勧める最後の理由、そして栄誉ある理由はこれです。私たちは今、古くて罪に汚れた朽ちゆく体に宿ることを余儀なくされていますが、主イエス・キリストがいつの日かそれをご自身に似た姿に変えてくださるという約束、つまり祝福された望みです。パウロは、ピリピの信徒たちに天の国民であることを思い出しなさいと言います。私たちの心はすでに天にあり、私たちの体もいずれそこにたどり着きます。もちろん、そのときは栄光の体をいただいてそこに行くのです。

まとめ

私たちが見習うべきお手本は誰でしょう。きよく誠実な人はどこにいますか。優しさと柔和の模範となる人は誰でしょう。試練や困難をどのように乗り越えればよいか教えてくれる人はどこにいますか。そのような人を探し求め、その人たちを見習いましょう。そのような人たちはイエスに従って生きているからです。この教会にも、お手本とすべき素晴らしい人々がおられます。キリストの基準を掲げて生きる人々を神に感謝します。

キリストは私たちの究極の模範ですが、神が周囲に与えてくださったクリスチャンやパウロのお手本に倣うのもけっこうなことです。私たちの周りでパウロやテモテ、エパフロデトのような人はどこにいますか。周囲を見渡せば、意外と近くにそのような人はいるはずです。私たち一人一人が皆、他の人のお手本となれるよう努力すればどれほど素晴らしいでしょう。